

1（1）学校と連携した地域文化の担い手の育成事業
②郷土学習に関する見学会

令和元年6月上旬～10月中旬
於：砺波民具展示室

○ふるさと「となみ」探訪事業

市内小学校6年生の郷土学習に伴う見学会の民具解説。民具の解説を聞くことで、郷土の先人の暮らしを知り、郷土の歴史を知ると共に、民具に親しむ。また、郷土愛を育む一助とし、小学生の自主的な学習を助ける。

※市内小学校、砺波市埋蔵文化財センター共催 協力：庄東小学校

《実績》

実施日	小学校	クラス数	見学児童数	所要時間
6/12（水）	砺波東部小学校	4	141人	80分
6/18（火）	庄南小学校	1	39人	70分
7/2（火）	砺波北部小学校	2	73人	50分
7/9（火）	砺波南部小学校	2	46人	80分
9/12（木）	庄川小学校	2	50人	70分
10/17（木）	出町小学校	2	83人	55分

- ・参加小学生の人数に応じ、15人～25人の人数に分け、各グループに担当者を割り当てた。
- ・隣接する砺波市埋蔵文化財センターも見学コースに入るため、ローテーションを組んで、時間のロスを防いだ。
- ・人数によっては、小学校校舎内を移動した。

《写真》



○小学生の感想

- ・いろいろな民具があることがわかった。沢山の民具がある。わかりやすかった。
- ・家で使っている道具もあって、びっくりした。
- ・昔の人が苦勞して米作りをしていたことがわかった。 等

○評価と課題（主催者側の感想）

- ・短時間に大勢が民具展示室を見学するので、説明のポイントを決め、子供たちの意識に残る解説になるよう、スタッフの事前打合せは念入りに行った。班別行動にしたが、必ず伝えるところは事前に決めておいた。高学年なので、各自が興味を持った箇所を十分に見れるよう、自由時間を与えるよう心がけ

た。